

～ 男女共同参画社会を考える情報コーナー～

With you

あなたと
いっしょに・・・

第6回

～ 子育ては誰の責任？～

近年、働く女性が増えている中で、家事や子育て、介護に携わる女性の負担が多いため、仕事と家庭の両立が難しく、やむなく退職してしまうということが少なくありません。

子どもに対する親の責任に母親、父親の区別はないはずですが、いまだに「家事や子育ては女の仕事！」という役割の意識は残っています。また、長時間労働や「男のくせに育児をしている」、「あの家は夫に育児をさせている」という周りの意識も、男性の育児参加を妨げてはいないでしょうか。

みんなが自分らしく生き生きと暮らし、働き、そして子育てをしていくには、男女が共に尊重し合い、家庭や社会を築くことのできる体制や環境を整備するとともに、「男は仕事、女は家事・育児」という意識を改めていくことが重要です。

そこで、今回は「子育て」について考えてみました。

ズームイン おじゃましま～す!



会場からもたくさんの質問や意見が出されました。
(大学祭にて)



ぼくたちと遊んでくれるお父さん「だーいすき!!」

わあっ
大変!!

知っていますか?
利用していますか?

どうしよう!?

?うちの子、まだ寝返りしないんだけど、いいのかしら.....
!赤ちゃんが、急にミルクを吐いたりすることがあるんだけど...
?熱もないし、きげんもいいんだけど。ミルク飲まないの。
?湯冷して何のこと?

などなどは「母と子の電話相談」
問い合わせ先 健康増進課 内線 518
木曜日(祝日を除く。) 9:00~16:00
「乳幼児育児テレホンサービス」
問い合わせ先 八戸市保育連合会
Tel 46-2525
火・金曜日(祝日を除く。)
9:00~17:00

!子どもが急に熱を出した。
でも、仕事休めな~い。
?急な残業が入って保育園に迎えに行けな~い。どうしよう。
!カミさんが熱を出してダウン、子どもは泣いてばかり。オレもうダメ~!

こんな時は「保育サポーター」
問い合わせ先 フレーフレー・テレホン
(21世紀職業財団 青森事務所)
Tel 017-776-2020
月~金曜日(祝日を除く。)
9:30~16:30

「青森県子育てメイト」

子育てについての不安や悩みを気軽に話せる相談相手として、おおむね各町内に1人配置されています。
問い合わせ先 社会福祉課 内線 261



子育てメイトとの交流会 東公民館

?近くに子どもの遊べる場所がありますか。
!引越してきたばかりで子どもと一緒に遊べるような友達いないんですけど...

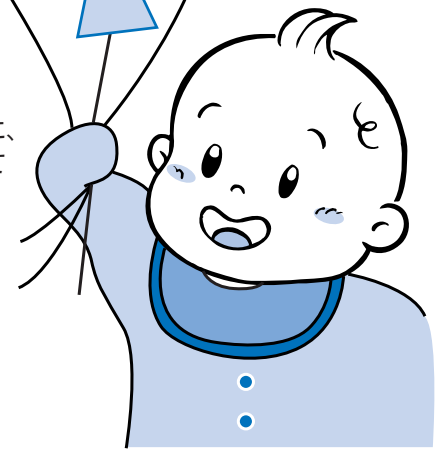
こういう時は「子育て支援センター」
いちごルーム(たいなか保育園)
Tel 0120-63-2216
月~土曜日(祝日を除く。) 10:00~17:00
エンジェルキッズルーム(根岸保育所)
Tel 0120-29-3406
月~土曜日(祝日を除く。) 9:00~15:00
のどちらかへ!

電話相談や訪問相談も受け中、また、子育てサークルの支援もしています。

「学童保育」 (放課後児童クラブ)

昼間、保護者が仕事などで留守になる家庭の小学校低学年のお子さんを対象に、授業終了後から夕方まで、児童館や小学校などで遊びを中心とした活動を行っています。

問い合わせ先
社会福祉課 内線 261
教育委員会指導課 内線 459



若い世代の父親たちが積極的に子育てにかかわっていることを知り、とてもうれしく思いました。このようなカップルがどんどん増えて、それが自然であると受け止められるような時代になってほしいと思います。

父親の立場から子育てにどのようにかかわっていますか？

- ・全面的。趣味は子育てというぐらいかかわっている。(38歳、公務員)
- ・オムツの交換(オシッコもウンチも)や入浴など。(30歳、会社員)
- ・子どもの遊び相手。(休日)(52歳、公務員)
- ・ほとんど妻に任せっきり、あるいは、母親または祖母に任せっきり。(43歳、薬剤師)

いろいろな人たちに
聞いてみました》

女の本音

も聞かれました!

・アメリカ人に聞いたら「子育ては親の責任なので、共に五分五分で子どもの世話をし子育てするのは当たり前」と話していた。日本のお父さんも、もっと積極的に参加してほしいと思った。

(44歳・女・自営業)

・共働きをしながら、子育てしていくうえで大変なことは、子どもの急な病気である。職場の理解が必要。

(39歳・男・公務員)

子育てするうえで父親から母親に望むことは何ですか？

- ・うるさくキーキー言わないでほしい。(30歳、会社員)
- ・子どもの前で「パパのように自分の好きな事ばかりやっているような大人になるな」と言わないでほしい。(35歳、公務員)
- ・妻は仕事をしているので、自分以上に大変な部分があるが、子どもたちと接する時間を今以上に持てるようにしてほしい。(43歳、会社員)

子育てに悩みや不安はつきものです。日ごろから、父親だから母親だからという役割にとらわれず子育てにかかわるとともに、悩みや不安をお互いに話し合う時間を持ちましょう。また、行政や地域で行っている相談コーナーや支援制度なども利用しましょう。

「八戸市男女共同参画基本条例(仮称)」への意見募集

女性と男性がお互いに尊重し合い、心豊かに生きる社会を実現するために、条例の制定を検討しています。この条例に盛り込むべき事項について意見を募集しています。

募集期間・3月9日(金)まで
応募方法・住所、氏名、性別、年齢、電話番号、を明記のうえ郵送、FAX、または電子メールで企画調整課男女共同参画室(〒03118686 八戸市内丸二丁目1-1)へ

【FAX 4711485】

電話による受け付けはいたしません。

電子メールアドレス

chosei@city.hachinohe.
aomorijp

資料入手方法

- 1、市のホームページに掲載
- 2、FAX情報サービスで配布
FAXセンター【4512110】に電話をかけ、情報ボックス番号0070を入力して下さい。資料が送信されます。(A4版10枚程度)
- 3、企画調整課、各支所で配布

母親の立場から子育てにどのように
かかわっていますか？

- ・子育て全般。 (30歳、パート)
- ・夫や祖母に助けられながら、自分は学校や保育園の行事への参加や病気のときの世話など。 (35歳、看護婦)
- ・とにかく父親は生活のために働いて、私には居て子どものように気に気をつけて過ごしていた。 (68歳、主婦)
- ・仕事を始めた現在も以前と変わりなく子育て全般にかかわっている。 (33歳、事務)

少し前まで「女性が家事・子育てをし、男性が働く」という役割分担の意識がありました。しかし、仕事を持つ女性が増えている今、子育ては男女が共同で、という意識が大切になってきています。

《子育てについて、

男の本音

子育てするうえで母親から父親に望む
ことは何ですか？

- ・母親が子育てをするのは当然との考えを改め、頼まれた時だけでなく父親自ら子どもとの時間を作ってほしい。 (40歳、?)
- ・直接子どもへ話さず、私を介して伝えようとするのはやめてほしい。 (43歳、薬剤師)
- ・単身赴任生活が長かった夫は積極的に子どもの生活にかかわることがないまま現在に至っている。これからは子どもたちも大きくなったので、一人の人間として生きる姿勢を示せようであってほしい。 (45歳、パート)

仕事が忙しくて、子どもたちとのコミュニケーションがなかなか取れないという父親も大勢いると思います。職場の理解や地域での支援体制を充実させ、父親が子育てに参加しやすい環境を整えましょう。

こんな本音

- ・経済面が特に大変である。少子化対策は一にも二にも経済面での優遇措置を図ることである。例えば3人めからは何事もすべからく無料にするなど。 (36歳・男・高校教員)
- ・母親が子育てをするための支援制度はあるが、父親が子育てをするための支援制度が少ないのではないか。 (38歳・男・デザイナー)

編集後記

- ・子育ては母親の役割ではなく、親として2人でかかわっていきたいですね。(阿部)
- ・受験生2人を抱えてオロオロしている毎日。こんな時グチを言えるのはやっぱり‘夫’だけです。(佐藤)
- ・子育ては大変だけど、その過程に生きている実感と幸せがいっぱいあります。(下館)
- ・子育てには、これでよしという事はなく、大変難しいと思いました。(馬渡)

この記事は一般公募で選ばれた皆さんが作成・編集しています。

お問い合わせ 企画調整課 男女共同参画室 内線485